



第6回年会「Breakthrough with New Technologies」開催

第6回日本エピジェネティクス研究会年会在、5月14日・15日の両日、学術総合センターで開かれました。総勢577名の方に参加して頂き、20社の企業に展示をして頂きました。ポスター157題、特別講演1題、一般講演12題、奨励賞受賞講演2題、ポスター賞受賞講演2題、次回年会長講演1題の発表が行われました。また、ランチョンセミナーも開催され、4社に協賛して頂きました。お隣の如水会館で行われた懇親会にも多数出席頂き、とても盛況な年会となりました。参加者の皆様、大変ありがとうございました。



講演会場

奨励賞受賞者の表彰が行われました

本会賞等選考委員会による厳正な審査の結果、若手研究者の中から、長浜バイオ大学 中村肇伸先生、熊本大学 日野信次郎先生の2名が、本会奨励賞に選ばれ、受賞者講演の際に表彰が行われました。またポスター発表者の中からは、早稲田大学 堀越直樹先生、関西学院大学 関由行先生が年会組織委員会による審査によりポスター賞に選ばれ、同様に受賞講演と表彰が行われました。

おめでとうございます



奨励賞受賞者

日野先生(中)、中村先生(右)。左は代表幹事佐々木先生。



ポスター賞受賞者

関先生(中)、堀越先生(右)。左は年会長牛島先生。
(関先生、起きてください！)

幹事会と総会が開かれました

▶5月14日に幹事会、15日に総会が行われました。

▶2013年の年会は、中島幹事(奈良先端科学技術大学院大学)を年会長に、5月30、31日、奈良県新公会堂で開催されます。この年会は「エピジェネティクス～抵抗と適応の戦略～」をテーマとし、取巻く環境に応じて変動するエピジェネティクス機構およびその結果現れる影響などを中心として行われる予定です。詳細が決まりましたら、またお知らせいたします。

▶2014年の年会長には、東京大学の塩田邦男幹事が選出されました。



ポスター会場



第6回年会を開催して

第6回日本エピジェネティクス研究会年会長 牛島俊和（国立がん研究センター研究所）

5月14日・15日の2日間にわたり、第6回年会を開催させて頂きました。500名を超える方々のご参加を賜り、盛会のうちに終えることができました。「Breakthrough with new technologies」を基調テーマとして、新しいエピジェネティック解析技術やエピジェネティック修飾について、また、多様な研究分野における最新の知見について、ご講演頂きました。講演者の先生方には、広い分野での活用や意義を念頭にご発表頂きましたこと、深く感謝申し上げます。同時に、年会の中心であるポスターセッションでは、157題のご発表を頂きました。講演ではカバー仕切れなかった多数の新しい技術・知見・アイデアが発表され、若手研究者とベテラン研究者が入り混じって活発な討論が行われ、massiveな情報交換がなされていました。特別講演に来日した Jenuwein 博士も両日ともポスター討論に参加され、日本の研究者との討議を楽しんでおられました。嬉しい誤算ではありますが、予想以上の方々にご参加頂いたためにポスター会場が手狭となってしまいましたこと、ご容赦頂ければ幸いです。改めまして、ご参加頂いた会員の方々、報道関係やファンディングエージェンシーを含む非会員の方々、講演者と組織委員の方々、また、出展やランチョンセミナー等を通じてご協力頂きました企業の方々に厚く御礼申し上げます。本年会が、ご参加頂いた方々の研究の益々の発展に役立つことを心から願っております。

情報を求めています！！

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしく願います。お近くの広報委員（中島欽一、牛島俊和、梅澤明弘、角谷徹二、古関明彦各幹事）に気軽に e-mail ください。

日本エピジェネティクス研究会事務局

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
分子腫瘍医学分野内
庶務担当幹事 湯浅保仁
担当：阿部良子
住所：〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
TEL:03-5803-5184
E-mail: jse.monc@tmd.ac.jp